

2012年度 第1四半期(4-6月)決算の概要

2012年7月31日(火)

コマツ

経営管理部

2012年度第1四半期(4-6月)の概況

1. 売上・損益: 中国の建設機械需要の回復遅れに加え、ワイヤーソーの需要低迷、為替が米ドル、ユーロ等に対し円高で推移したことなどにより、対前年同期比減収減益。

	FY2011/1Q	FY2012/1Q	対前年同期比
連結売上高	4,941億円	4,699億円	▲4.9%
営業利益	683億円	557億円	▲18.5%
売上高営業利益率	13.8%	11.9%	▲1.9ポイント
純利益*	557億円	321億円	▲42.3%

*米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

2. 各セグメントの状況

■ 建設機械・車両

- ・鉱山機械の需要は中南米、オセアニアを中心に堅調に推移したものの、中国の建設機械需要の低迷による販売減等により、対前年同期比▲1.6%の減収。
- ・中国の需要減に加え、為替が米ドル、ユーロ等に対して円高となったこと等により、セグメント利益は対前年同期比▲11.0%減益。

■ 産業機械他

- ・プレス機械、工作機械の受注・販売は堅調に推移したが、昨年度後半から急減速したワイヤーソーの需要が回復せず、対前年同期比減収減益。

(参考) 売上高、利益の米ドル、ユーロ換算値*

(百万米ドル)	FY11/1Q	FY12/1Q	増減
連結売上高	6,101	5,874	▲3.7%
営業利益	844	696	▲17.5%
純利益	688	402	▲41.6%

(百万ユーロ)	FY11/1Q	FY12/1Q	増減
連結売上高	4,224	4,747	+12.4%
営業利益	584	563	▲3.7%
純利益	476	324	▲31.8%

*各期末の為替レートを適用して換算。

3. 業績見通しの修正

第1四半期の業績ならびに期初からの事業環境の変化に基づき、2012年度の業績見通し(4月26日公表)を修正。

2012年度第1四半期(4-6月)の連結売上高と損益

・中国の建設機械需要の回復遅れ、昨年度前半まで好調であったワイヤーソーの需要低迷、為替レートが米ドル、ユーロ等に対して円高となったことなどにより、対前年同期比減収減益。

□ : 利益率

() : 外部顧客向け売上高

金額単位: 億円

	FY2011/1Q 1ドル=81.2円 1ユーロ=118.3円 1元=12.5円	FY2012/1Q 1ドル=80.6円 1ユーロ=104.6円 1元=12.8円	対前年同期比	
			増 減	増減率
売上高	4,941	4,699	▲242	▲4.9%
- 建設機械・車両	(4,353) 4,366	(4,289) 4,297	(▲64) ▲68	(▲1.5%) ▲1.6%
- 産業機械他	(588) 605	(410) 430	(▲178) ▲174	(▲30.3%) ▲28.9%
- 消去	▲30	▲29	+1	-
セグメント利益	□ 13.8% 681	□ 11.8% 552	▲128	▲18.9%
- 建設機械・車両	□ 13.9% 608	□ 12.6% 542	▲66	▲11.0%
- 産業機械他	□ 14.6% 88	□ 5.5% 23	▲64	▲73.1%
- 消去または全社	▲16	▲13	+3	-
その他の営業収益(▲費用)	2	4	+1	+76.7%
営業利益	□ 13.8% 683	□ 11.9% 557	▲126	▲18.5%
その他の収益(▲費用)	*2 0	▲44	▲45	-
税引前純利益	684	512	▲171	▲25.1%
純利益 *1	*3 557	321	▲235	▲42.3%

*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

*2 ギガフォン持分投資時価評価益26億円を含む(2011年度第2四半期より連結子会社) *3 コマツレンタル吸収合併に伴う税効果127億円を含む

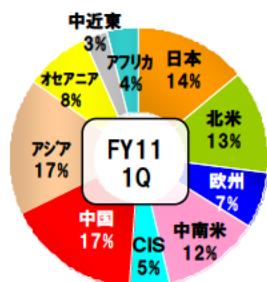
<建設機械・車両> 2012年度第1四半期(4-6月)の地域別売上高(外部顧客向け)

・中国での大幅な販売減を、中南米、オセアニアを中心とした鉱山機械ならびに北米、日本等他地域の販売増でほぼカバーするも、対前年同期比▲1.5%減収。

(金額単位:億円)		FY2011/1Q	FY2012/1Q	対前年同期比	
				増減	増減率
伝統市場	日本	614	625	+11	+1.8%
	北米	551	619	+67	+12.2%
	欧州	315	279	▲36	▲11.6%
戦略市場	中南米	509	633	+123	+24.3%
	CIS	219	219	▲0	▲0.2%
	中国	754	407	▲347	▲46.0%
	アジア	748	785	+36	+4.9%
	オセアニア	342	443	+100	+29.4%
	中近東	110	52	▲58	▲52.6%
	アフリカ	185	224	+38	+20.9%
合計		4,353	4,289	▲64	▲1.5%
うち、鉱山機械		1,223	1,552	+329	+26.9%

地域別売上構成比

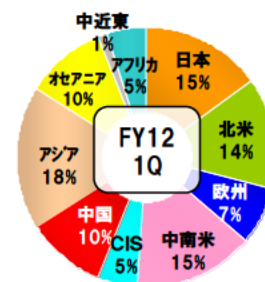
戦略市場
66%



伝統市場
34%



戦略市場
64%

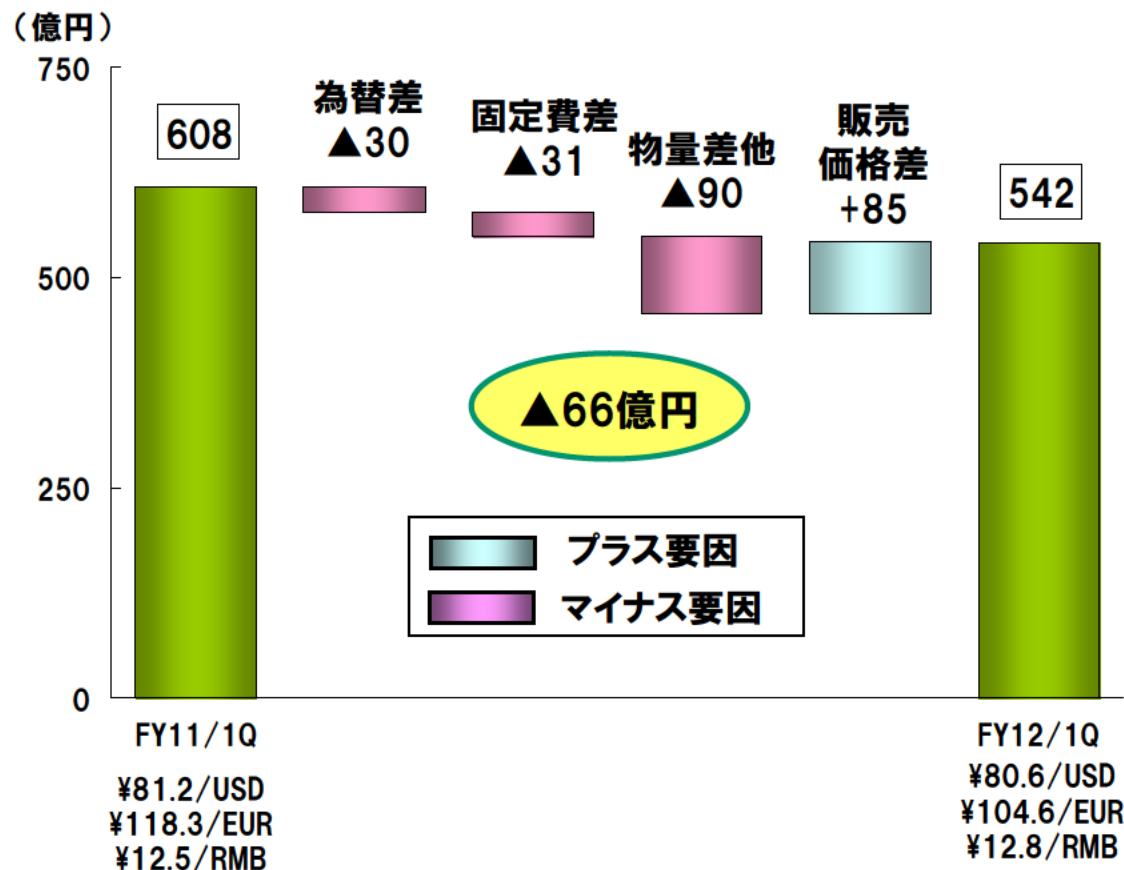


伝統市場
36%

<建設機械・車両> 2012年度第1四半期(4-6月) セグメント利益の増減要因

・中国の大幅な需要減による物量減等を、販売価格の改善によりほぼカバーしたが、ドル、ユーロに対する円高、固定費増によるマイナスにより、対前年同期比▲66億円の減益。

FY2011/1Q vs. FY2012/1Q



【プラス要因】

- 販売価格差: +85億円

【マイナス要因】

- 為替差: ▲30億円
- 固定費差: ▲31億円
- 物量差他: ▲90億円

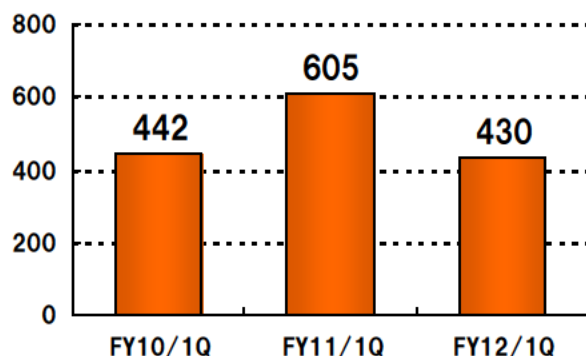
合計▲66億円の減益

＜産業機械他＞ 2012年度第1四半期(4-6月)の売上高とセグメント利益

- ・ワイヤーソーの需要低迷による販売減を、堅調なプレス機械、工作機械でカバーできず、対前年同期比減収減益。
- ・プレス機械、工作機械の受注残は引き続き安定的に推移。

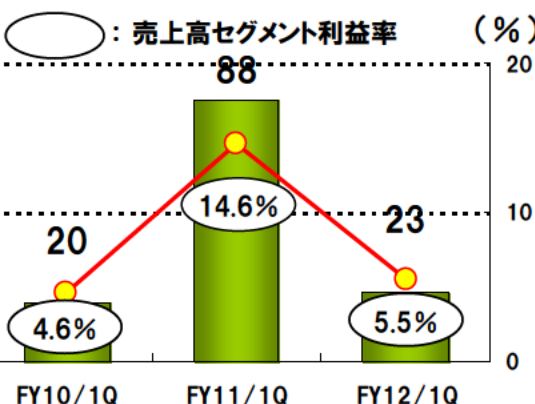
売上高

(億円)

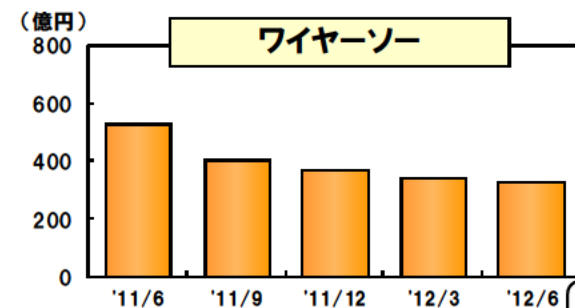
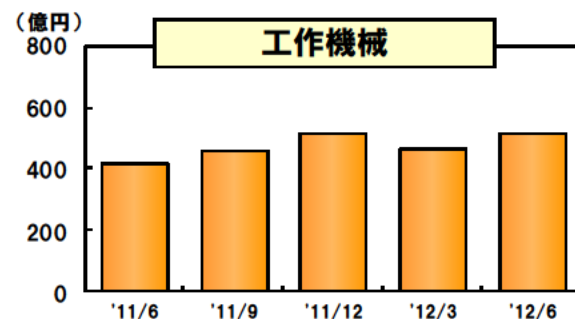
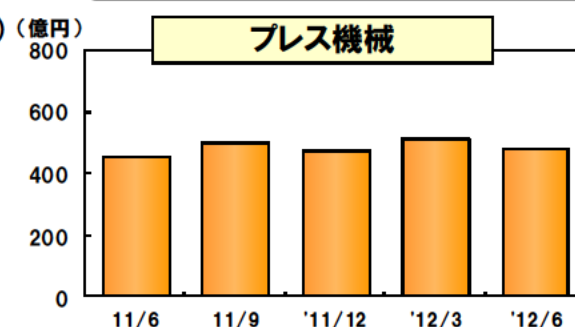


セグメント利益

(億円)



受注残の状況



売上高の内訳

金額単位: 億円

	FY11/1Q	FY12/1Q	増減
コマツ産機等 (板金鍛圧事業合計)	67	111	+44
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	410 [255]	152 [20]	▲258 [▲235]
その他 [うち、ギガフォトン] [うち、コマツハウス]	129 [0] [59]	167 [54] [37]	+38 [+54] [▲22]
合 計	605	430	▲174

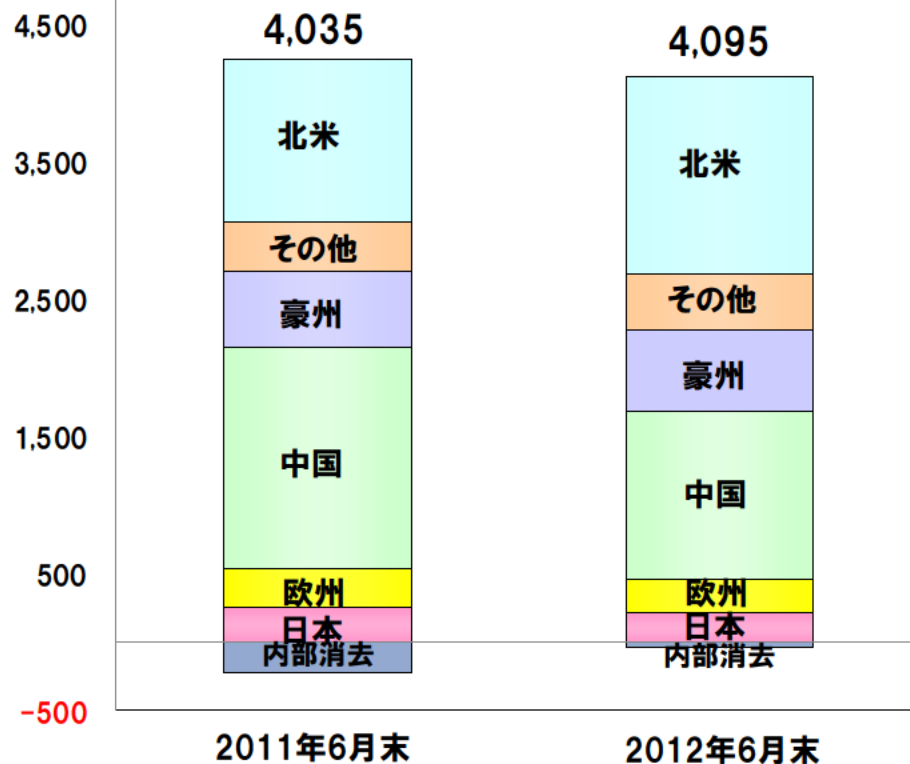
リテールファイナンスの状況

- ・中国の資産が減少する一方、北米での資産が増加。対前期末比で総資産は増加。
- ・北米での資産増加等により、対前年同期比増収増益。

リテールファイナンス子会社の状況(社内管理ベース)

1. 資産の状況

(億円)

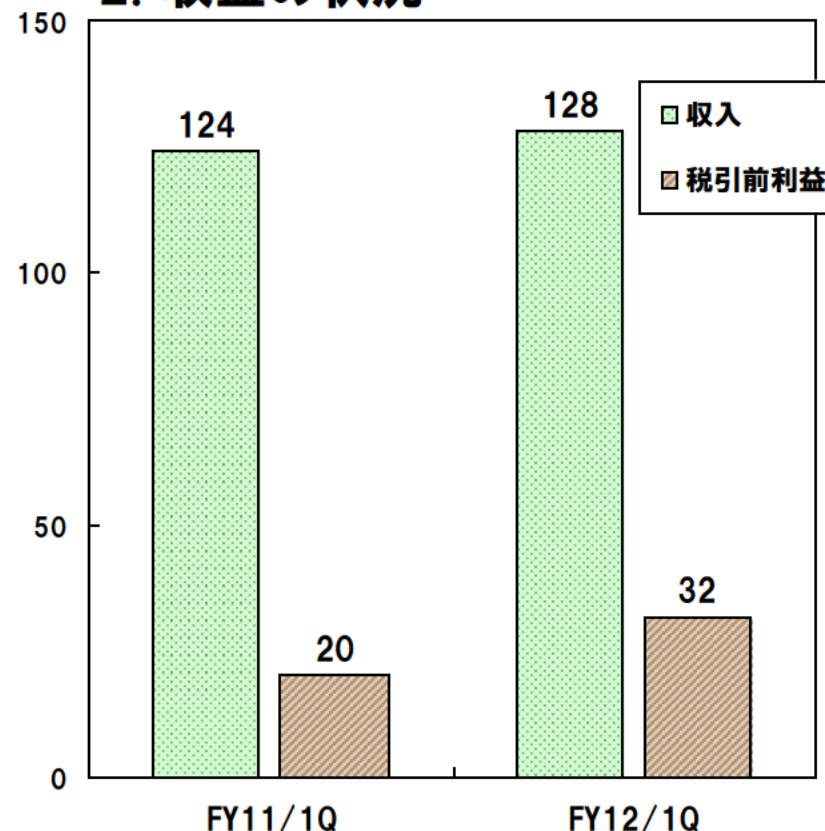


(ドル) 80.7円
(ユーロ) 116.8円
(元) 12.5円

79.3円
98.7円
12.6円

(億円) 2. 収益の状況

(億円)



(ドル) 81.2円
(ユーロ) 118.3円
(元) 12.5円

80.6円
104.6円
12.8円

連結貸借対照表

- ・受取手形及び売掛金の減少等により、総資産は前期末比762億円減少。
- ・株主資本比率は同0.3ポイント増の43.8%。

金額単位:億円 ○:ネットD/Eレシオ	2012.3.31 1ドル=82.2円 1ユーロ=109.8円 1元=13.1円	2012.6.30 1ドル=79.3円 1ユーロ=98.7円 1元=12.6円	増 減
現金・預金(含む定期預金) [a]	839	901	+61
受取手形・売掛金(含む長期売上債権) ＜除くリテールファイナンス会社＞	7,440 <3,975>	6,721 <3,387>	▲719 <▲587>
棚卸資産	6,123	6,154	+30
有形固定資産	5,296	5,219	▲77
その他資産	3,504	3,446	▲58
資産合計	23,205	22,442	▲762
支払手形・買掛金	2,734	2,498	▲235
借入金・社債 [b] ＜除くリテールファイナンス会社＞	6,478 <3,369>	6,559 <3,587>	+81 <+217>
その他の負債	3,418	3,126	▲291
負債合計	12,630	12,185	▲445
(株主資本比率) 株主資本	(43.5%) 10,096	(43.8%) 9,833	(+0.3ポイント) ▲263
非支配持分	477	424	▲52
負債及び純資産合計	23,205	22,442	▲762
ネットベースの借入金・社債 [b-a]	○0.56 5,638	○0.58 5,658	+19
ネットD/Eレシオ(リテールファイナンス会社を除いた場合)	○0.28	○0.31	

2012年度年間 業績見通し

- ・中国の建機需要の回復遅れ、燃料炭価格の下落による石炭鉱山向けの中・大型機械の需要減速リスクを織り込み、期初(4月26日)に公表した業績見通しを修正。
- ・期初見通しに対し、連結売上高は▲1,300億円減の1兆9,700億円、営業利益は▲530億円減の2,620億円の見通し。対前期比では、ほぼ前年並みの見通し。

% 利益率 (): 外部顧客向け売上高

金額単位: 億円

	FY2011/年間 (実績) (A) 1ドル=79.0円 1ユーロ=109.6円 1元=12.4円	FY2012/年間 (期初見通し) (B) 1ドル=80円 1ユーロ=105円 1元=12.8円	FY2012/年間 (最新見通し) (C) 1ドル=79円 1ユーロ=99円 1元=12.6円	期初見通しとの差 (C-B)		対前期比 (C-A)	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	19,817	21,000	19,700	▲1,300	▲6.2%	▲117	▲0.6%
- 建設機械・車両	(17,393) 17,442	(18,860) 18,900	(17,660) 17,700	(▲1,200) ▲1,200	(▲6.4%) ▲6.3%	(+266) +257	(+1.5%) +1.5%
- 産業機械他	(2,424) 2,511	(2,140) 2,200	(2,040) 2,100	(▲100) ▲100	(▲4.7%) ▲4.5%	(▲384) ▲411	(▲15.8%) ▲16.4%
- 消去	▲136	▲100	▲100	0	-	+36	-
セグメント利益	13.1% 2,586	15.3% 3,210	13.5% 2,650	▲560	▲17.4%	+63	+2.4%
- 建設機械・車両	14.1% 2,462	16.9% 3,200	14.9% 2,640	▲560	▲17.5%	+177	+7.2%
- 産業機械他	6.7% 167	3.2% 70	2.9% 60	▲10	▲14.3%	▲107	▲64.2%
- 消去または全社	▲44	▲60	▲50	+10	-	▲5	-
その他の営業収益(▲費用)	▲23	▲60	▲30	+30	-	▲6	-
営業利益	12.9% 2,563	15.0% 3,150	13.3% 2,620	▲530	▲16.8%	+56	+2.2%
その他の収益(▲費用)	▲67	▲70	▲100	▲30	-	▲32	-
税引前当期純利益	2,496	3,080	2,520	▲560	▲18.2%	+23	+1.0%
純利益 *1	1,670	1,900	1,570	▲330	▲17.4%	▲100	▲6.0%

*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

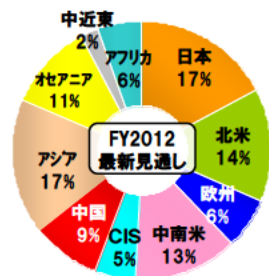
＜建設機械・車両＞ 2012年度年間 地域別売上高見通し(外部顧客向け)

- ・2012年度の建設機械・車両部門の売上高(外部顧客向け)は、期初見通しに対し▲1,200億円減の17,660億円となる見通し。
- ・うち建設機械は、期初見通しに対し、中国の需要回復遅れによる売上減、インドネシアの鉱山向け中型機械を中心とするアジアの売上減等、▲800億円の売上減を見込む。
- ・鉱山機械では、燃料炭の価格下落の影響により、インドネシア向けを中心に、期初見通しに対し▲400億円の売上減を見込む。

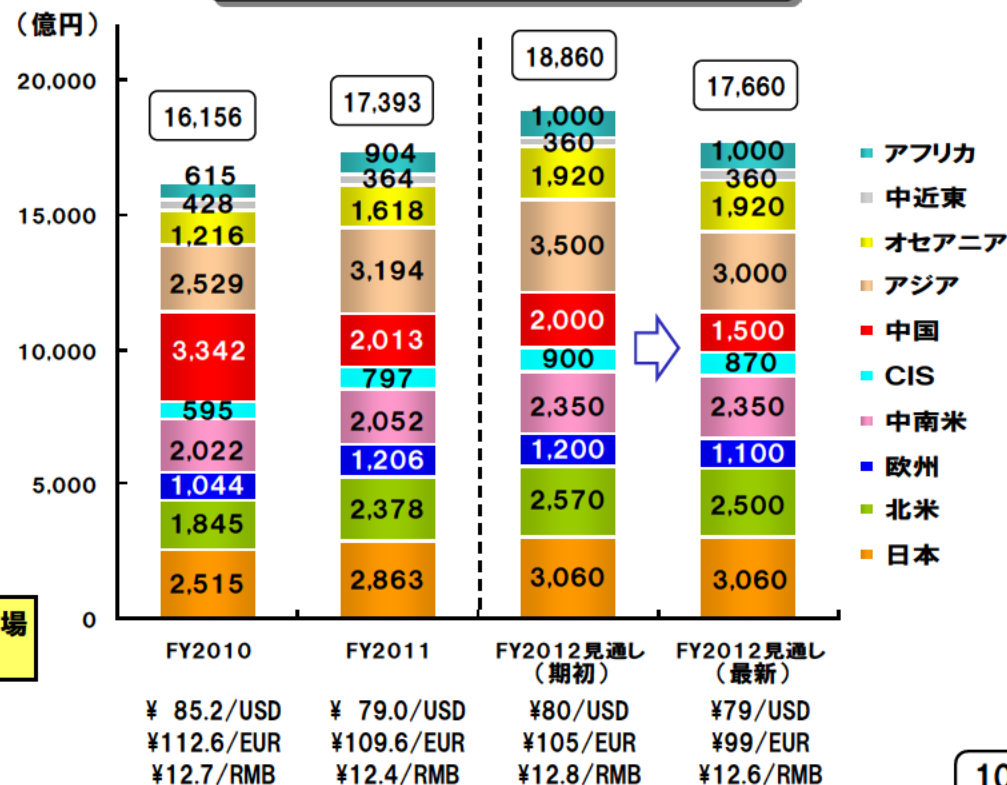
期初見通しに対する売上見通しの修正

金額単位:億円

	建設機械	鉱山機械	計
中国	▲500		▲500
アジア	▲200	▲300	▲500
欧州	▲100		▲100
北米		▲70	▲70
CIS		▲30	▲30
合計	▲800	▲400	▲1,200

戦略市場
63%伝統市場
37%

地域別売上高(外部顧客向け)

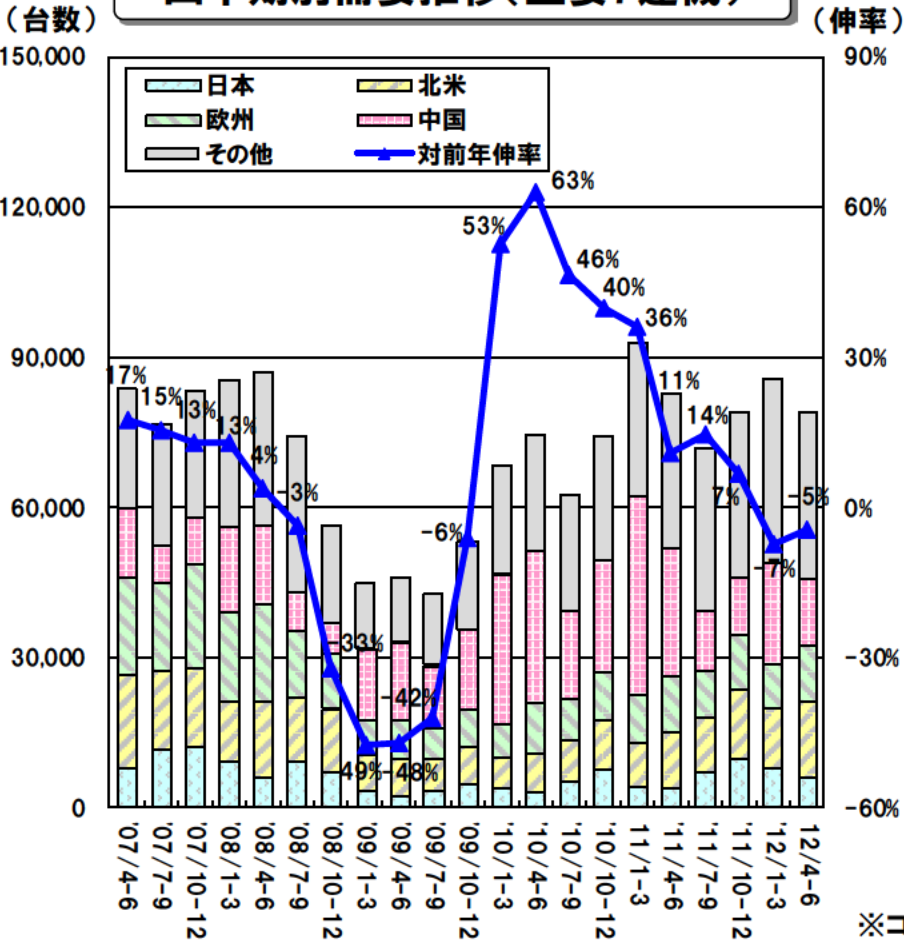


<建設・鉱山機械> 主要7建機需要推移

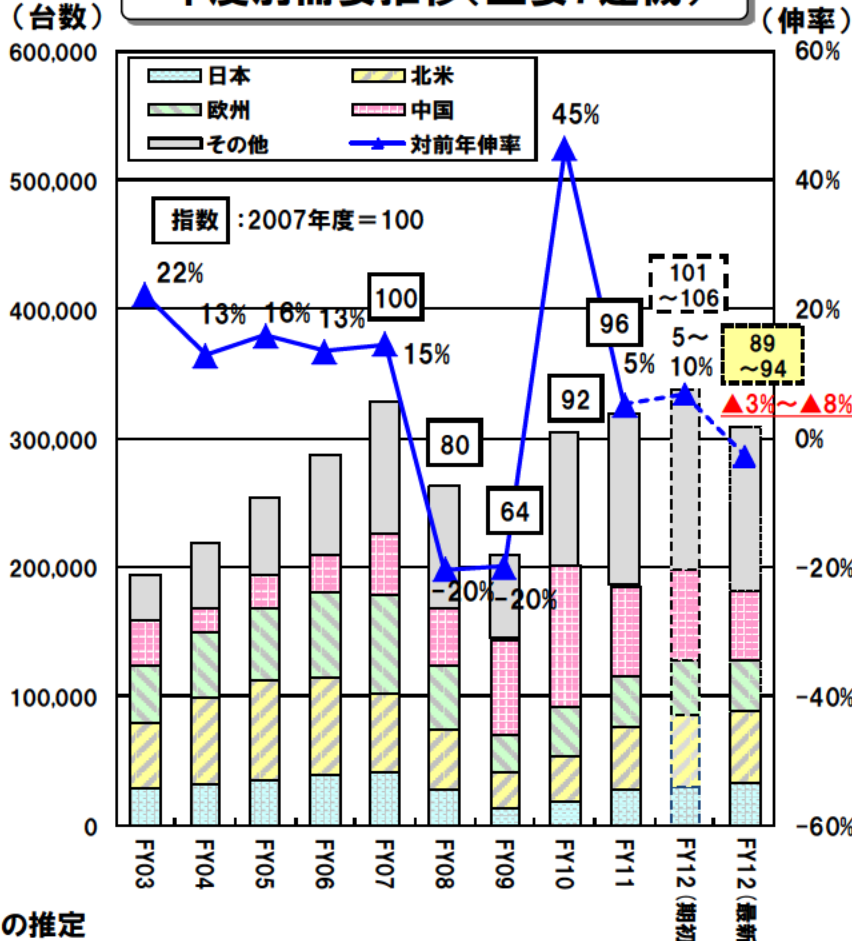
(1Q実績) : 日本、北米の需要が堅調に推移する一方で、中国の需要は前年同期比で約半減。
対前年同期比▲5%。

(年間見通し): 中国の需要回復の遅れに加え、燃料炭の価格下落に伴い、インドネシアを中心に
石炭鉱山向けの中・大型機械需要も減速の見込み。対前期比▲3%~▲8%の見通し。

四半期別需要推移(主要7建機)

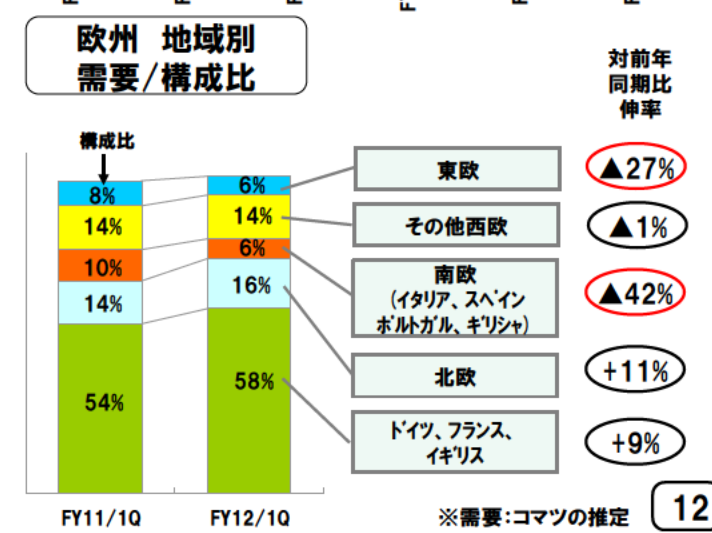
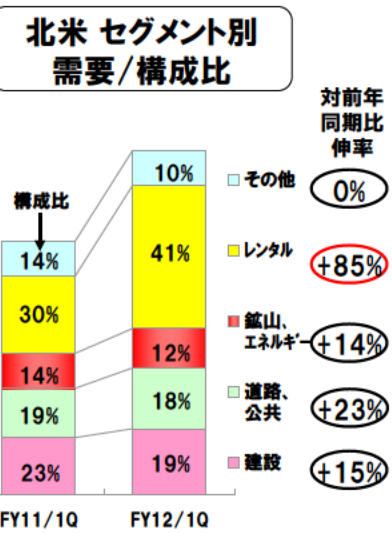
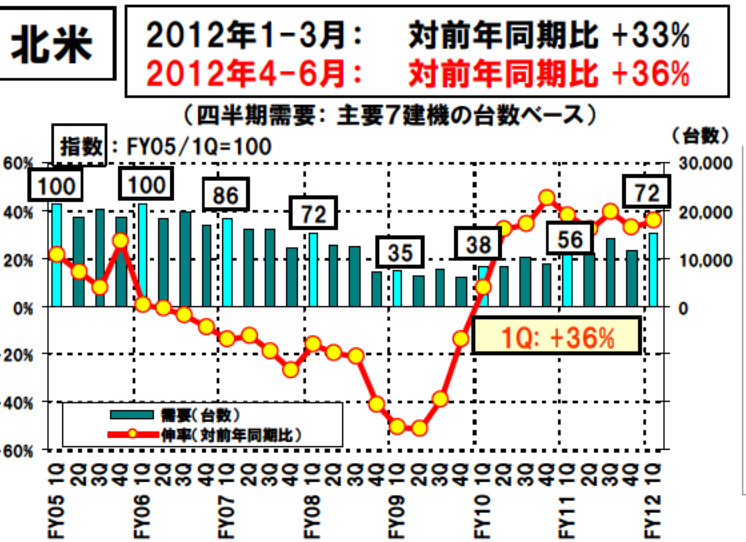
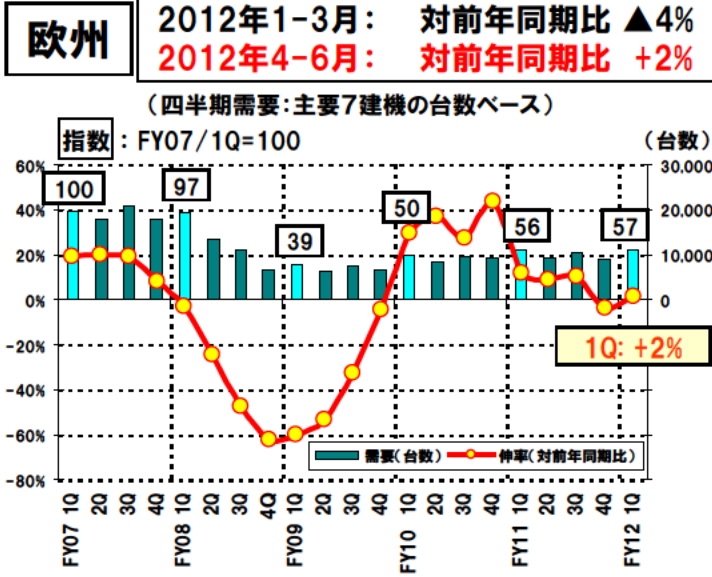
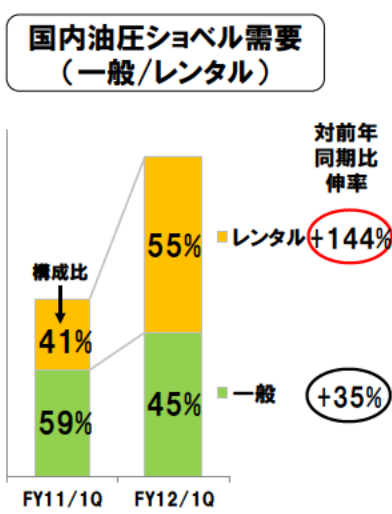
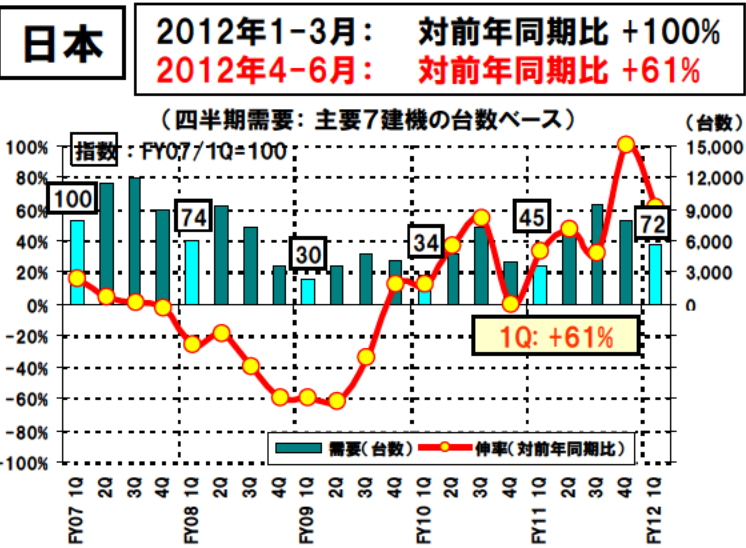


年度別需要推移(主要7建機)



<建設・鉱山機械> 主要市場の需要推移①: 伝統市場

- ・第1四半期の国内の需要は、レンタル向けの需要が特に大きく伸長し、対前年同期比+61%。
- ・北米の需要は、住宅、道路建設向けが堅調であったことに加え、レンタル向けが伸長し、同+36%。
- ・欧州の需要は、南欧、東欧の需要が大幅減となったが、独仏英、北欧の需要は堅調に推移し、同+2%。



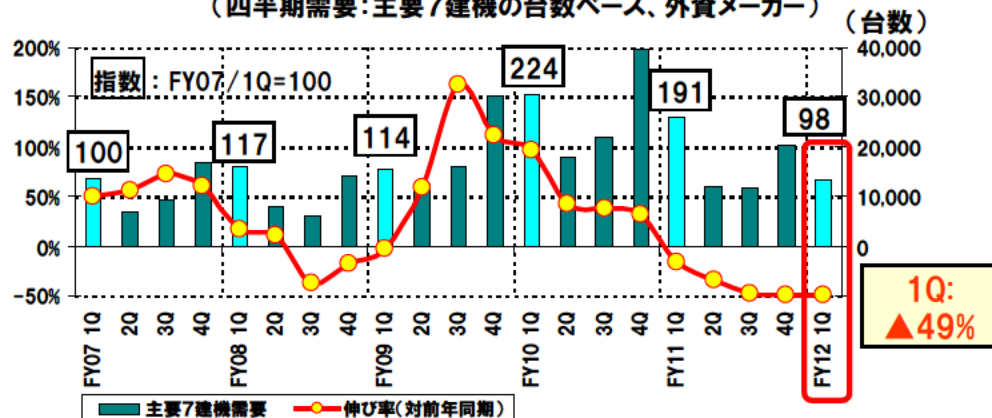
<建設・鉱山機械> 主要市場の需要推移②: 戦略市場(中国)

- ・新規工事の進捗遅れにより、第1四半期の需要も低調に推移し、対前年同期比▲49%。
- ・足元でも需要回復の兆しは見え、当面は低調に推移すると見込む。2012年度の需要は、対前期比▲20~▲30%の見通し。

中国

2012年1-3月: 対前年同期比 ▲49%
2012年4-6月: 対前年同期比 ▲49%

(四半期需要: 主要7建機の台数ベース、外資メーカー)

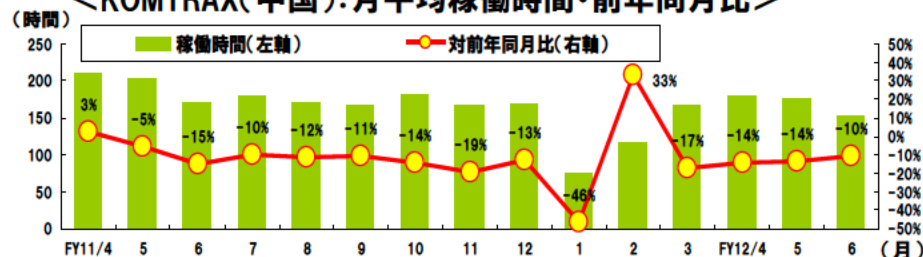


1. 政策面での後押しはあるものの、本格的な需要回復には至らず。

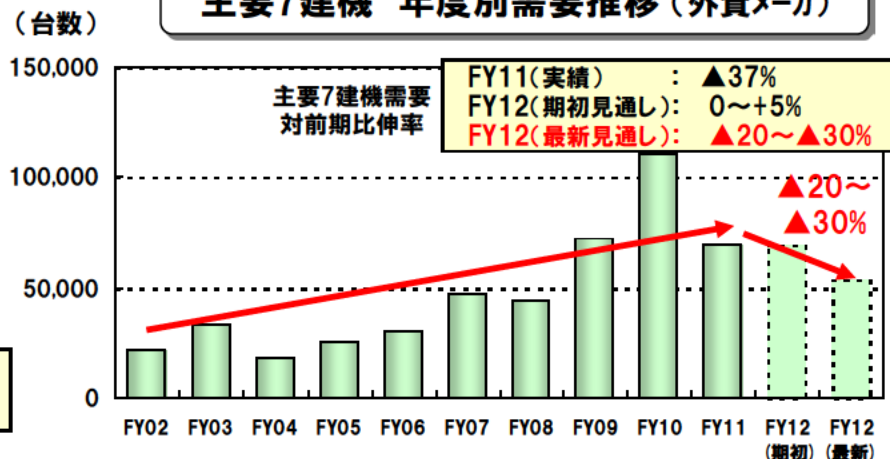
- ① 預金準備率の引き下げ(11月、2月、5月: 計1.5%引下げ。現在20%)
- ② 貸出基準金利の引き下げ(6月、7月: 計0.56%引下げ。現在6.00%)
- ③ 鉄道建設投資の拡大を発表

2. 足元の稼働時間にも回復の兆しは見られない。

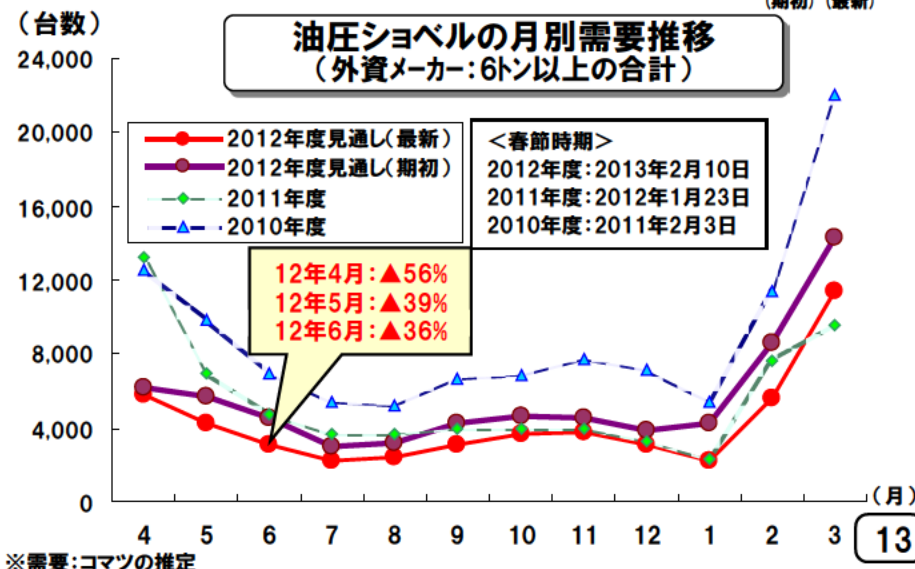
<KOMTRAX(中国): 月平均稼働時間・前年同月比>



主要7建機 年度別需要推移(外資メーカ)



油圧ショベルの月別需要推移(外資メーカ: 6トン以上の合計)



※需要: コマツの推定

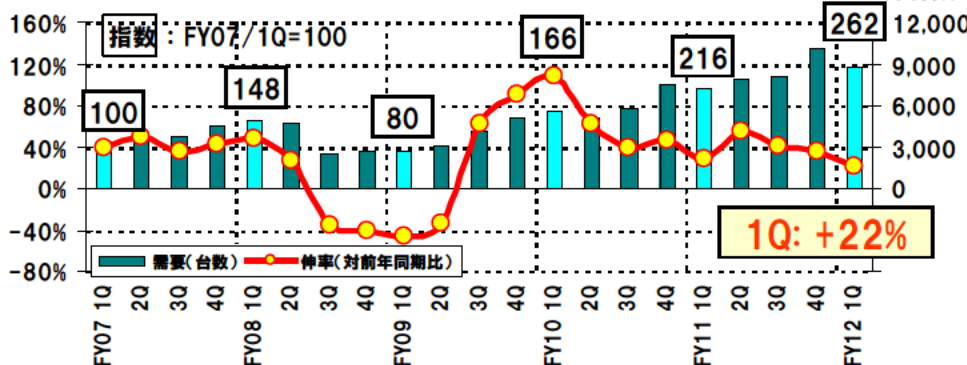
<建設・鉱山機械> 主要市場の需要推移②：戦略市場(東南アジア)

- ・燃料炭の価格下落に伴い足元の需要は減少傾向にあるが、第1四半期は対前期比+22%。
- ・第2四半期以降は、インドネシア向けを中心に需要の減速を見込む。

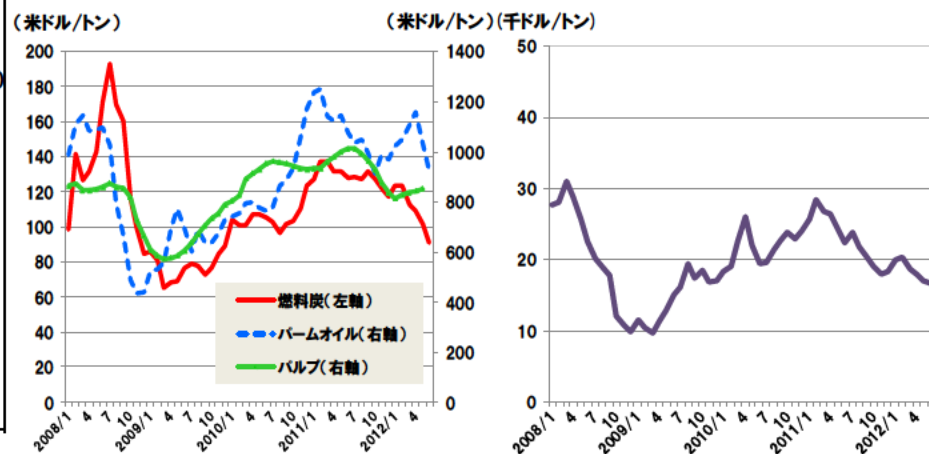
東南アジア

2012年1-3月：対前年同期比 +36%
2012年4-6月：対前年同期比 +22%

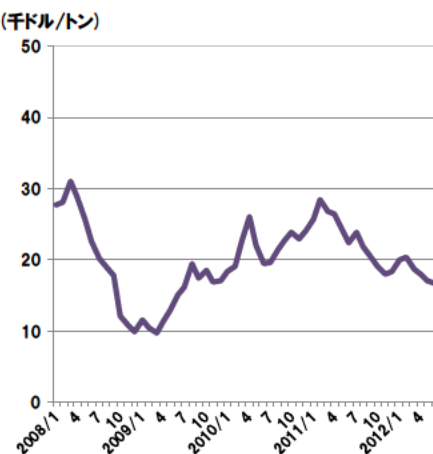
(四半期需要：主要7建機の台数ベース)



燃料炭/パームオイル/パルプ 価格推移



ニッケル価格推移



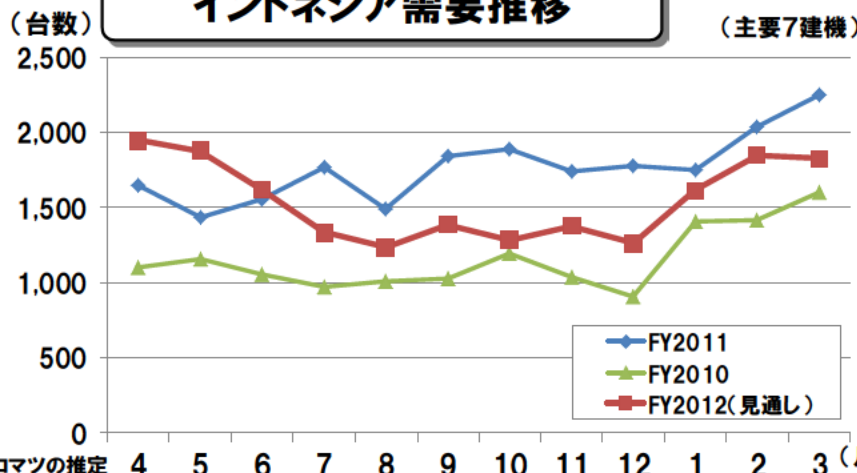
インドネシア 市場動向

- ①燃料炭価格下落に伴う石炭鉱山の減産等
石炭鉱山(山元・コントラクター)の動向

	山元業者	コントラクター
中小	一部、操業停止の動き	
大手	高コスト・低カロリー炭を 中心に減産・生産計画変更	減産・生産計画変更

- ②未加工鉱石に対する輸出関税(2012年5月～)
- ・対象：65品目(ニッケル、錫等)
 - ・輸出関税：20% (2014年以降 全面輸出禁止)

インドネシア需要推移



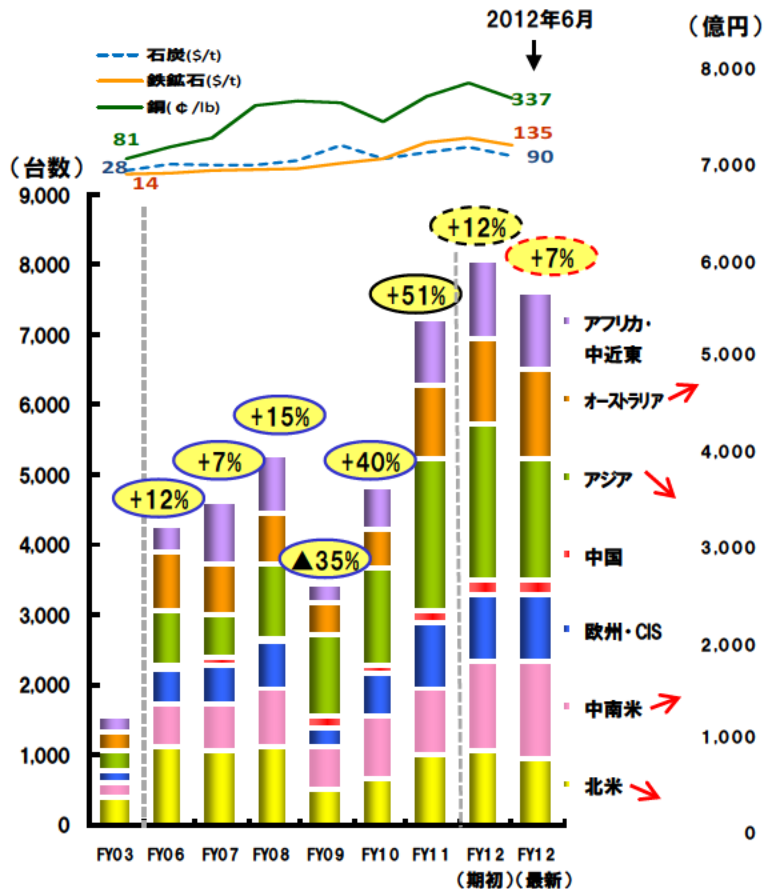
※需要：コマツの推定

<建設・鉱山機械> 鉱山機械の地域別需要と売上高、受注残の状況

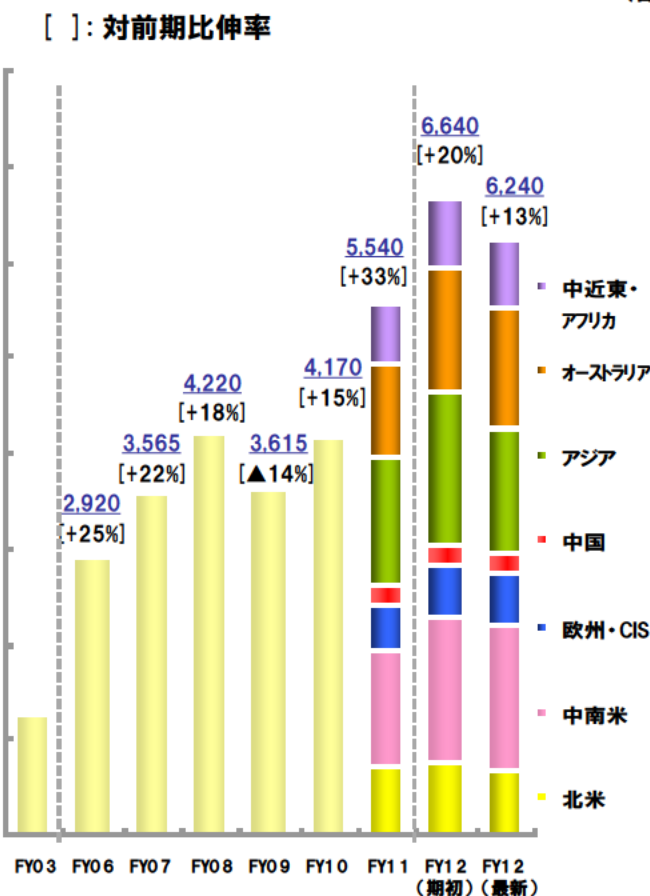
- ・鉱山機械の需要は、石炭価格下落の影響により期初見通しを下回るものの、対前期比+7%増を見込む。
- ・年間の売上高も、期初見通しは下回るが、対前期比+13%増となる見込み。
- ・受注・引合いはインドネシア向けを除き堅調で、受注残も引き続き堅調に推移。

鉱山機械 地域別需要推移

・ダンプトラック: 75t (HD785) 以上 ・ブルドーザ: 525HP (D375) 以上
 ・エクスカベータ: 200t (PC2000) 以上 ・ホイールローダ: 810HP (WA800) 以上
 ・モータグレーダ: 280HP (GD825) 以上

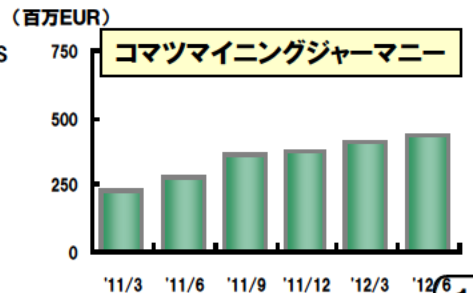
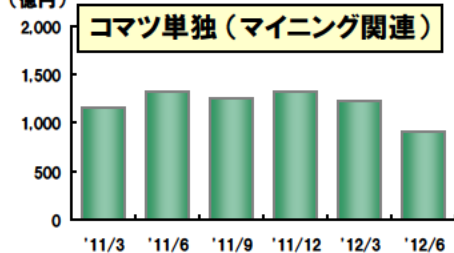
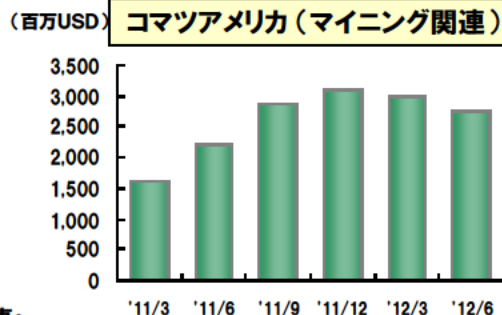


鉱山機械 地域別売上高 (部品・サービス含む)

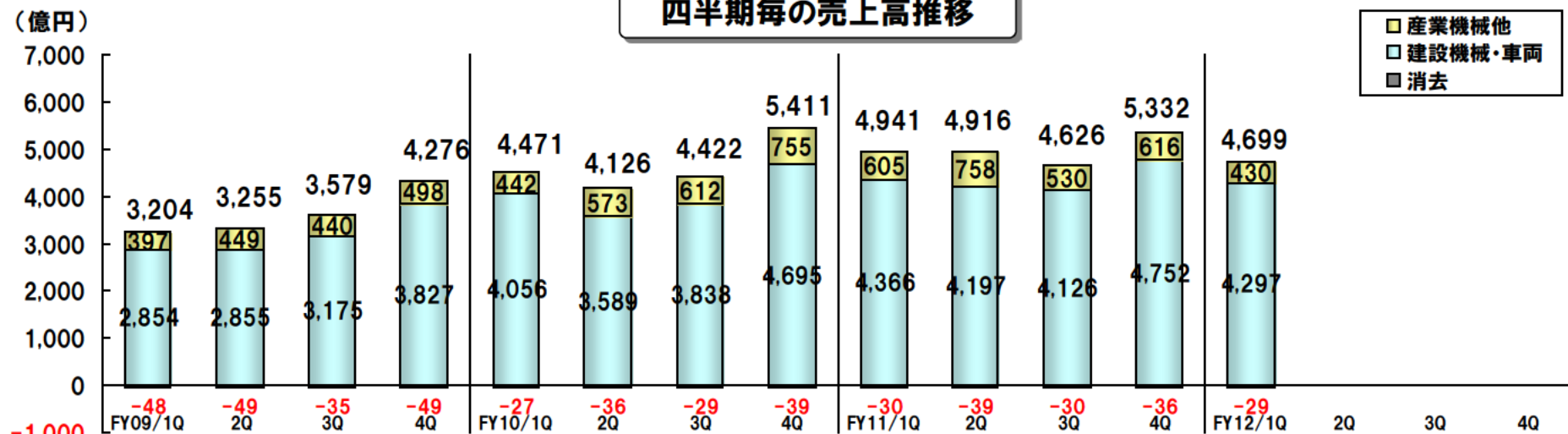


鉱山機械の受注残*の状況

* 本体のみ。(部品・サービスを除く)
 内定、予約分を含む。

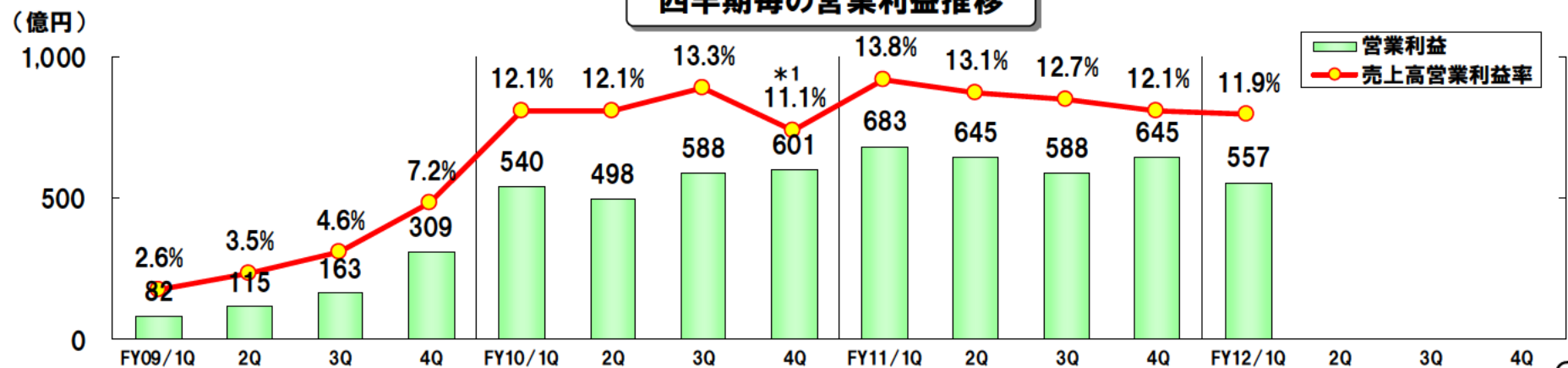


四半期毎の売上高と営業利益の推移



為替レート]

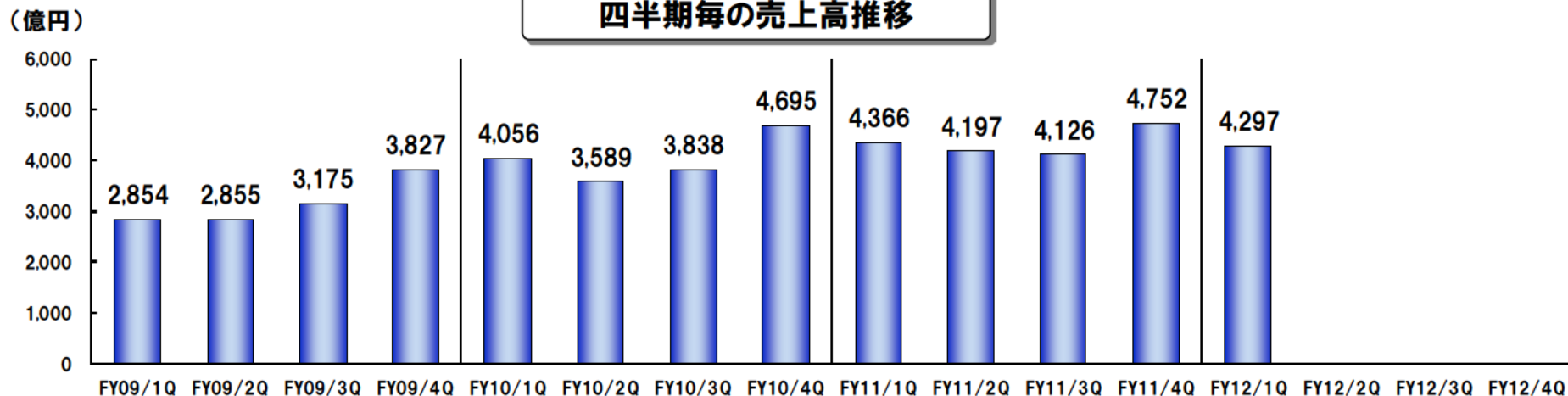
	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	円	円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	円	円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	円	円	円



*1 震災による影響 ▲70億円を含む

＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

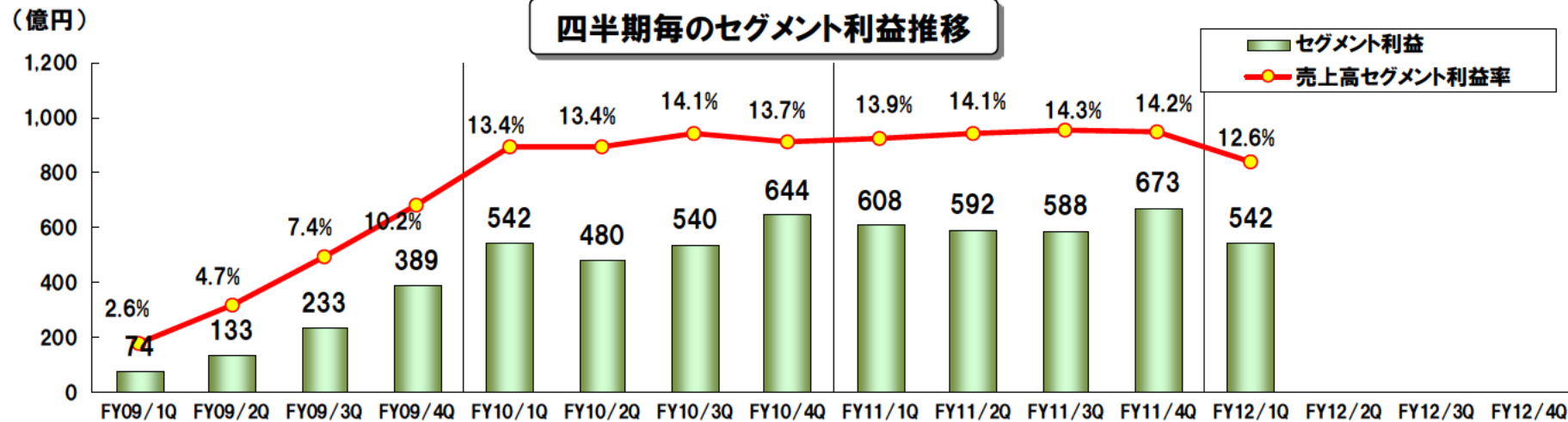
四半期毎の売上高推移



【為替レート】

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	円	円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	円	円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	円	円	円

四半期毎のセグメント利益推移



＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高(外部顧客向け)

(億円)

6,000

5,000

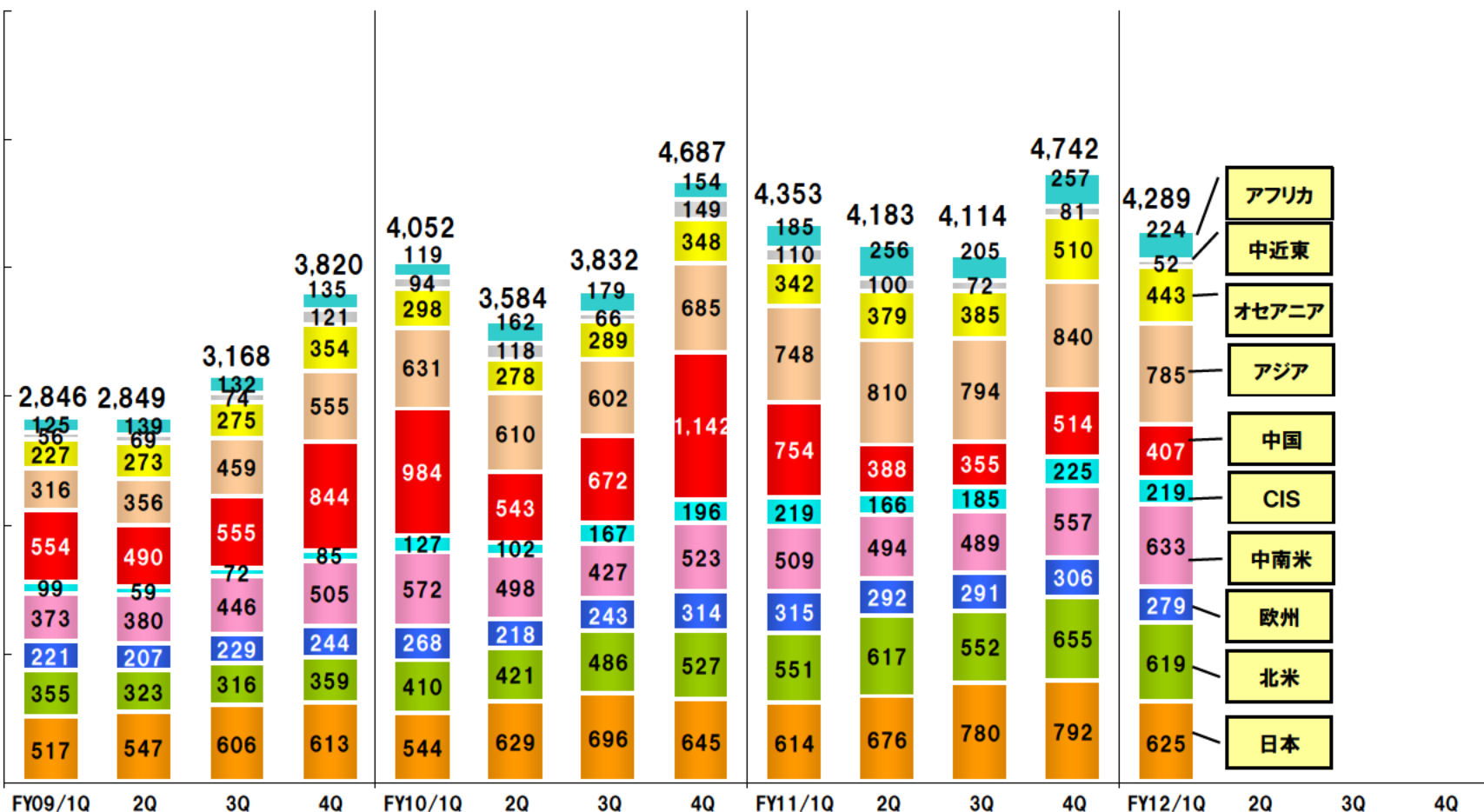
4,000

3,000

2,000

1,000

0



【為替レート】

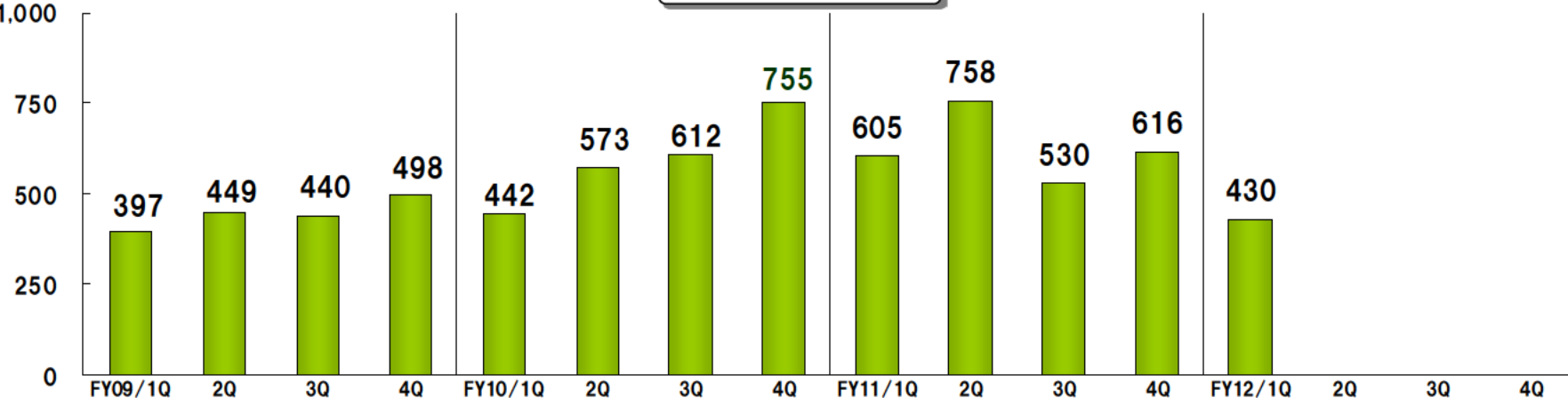
	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	円	円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	円	円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	円	円	円

<産業機械他> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

(億円)

1,000

売上高推移

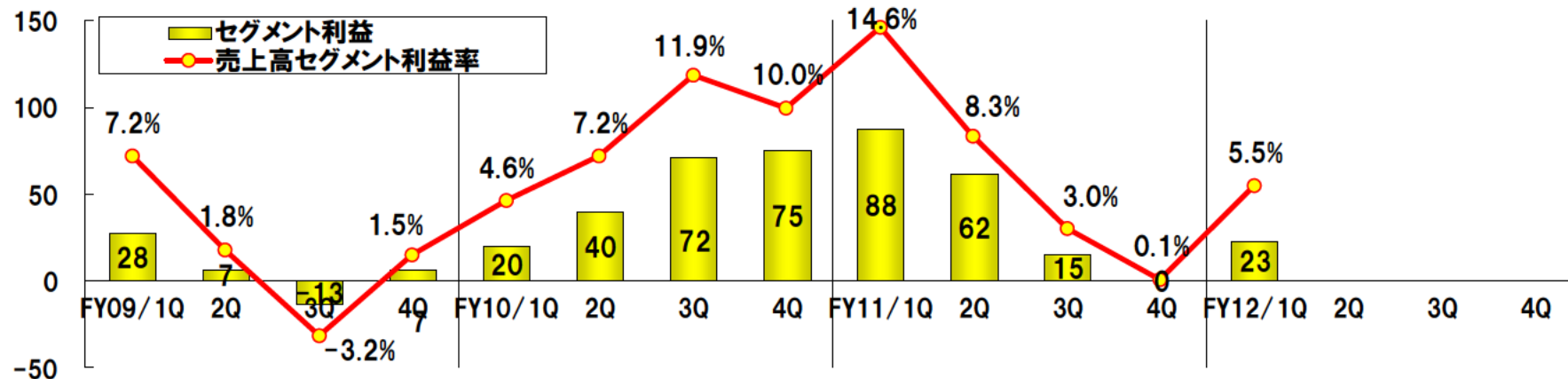


【為替レート】

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	円	円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	円	円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	円	円	円

(億円)

セグメント利益推移



建設機械で培ってきた油圧・制御技術を結集した
油圧駆動式の新型フォークリフト FH50-1



【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。